



名古屋修練会会長
愛知県
やまもと歯科醫院

山本 司将
先生

今回のアイテム

ユーティリティーワックス ホワイトスクウェア

「面」で付着し、接着面積を何倍も広くとる事が出来る

名称の通りユーティリティーな使用方法があるワックスであるが、我々が目にするユーティリティーワックスはラウンド(円形)タイプがほとんどであり、スクエア(角形)タイプは存在さえ知らない場合が多い。

しかしながら従来のラウンドタイプの欠点として、断面が円形であるが故にトレー等に付着させる部分が「線状」であり、接着力が乏しく、付着操作が困難でしばしば失敗の種になった。

また、ワックスの色がホワイトであり、被付着部を汚す事が少なくなった。

この問題に対してスクウェアタイプでは「面」で付着する事が出来る、接着面積を何倍も広くとる事が出来る為、確実な付着が可能になった。

以前よりKei社のユーティリティーワックスは「べたつかない」形

態付与が容易、「適切な硬度」など、性状が良好である事は知られており、好んで使用してきた。

特にボクシングにおいては、ワックス1本の長さが1顎の周囲に付与するのに適切な長さである為、2〜3本のワックスを繋げる必要が無い。

1ワックス ホワイトスクウェアのように使い勝手の良い材料を使用する事で、補綴 技工 操作において操作ミスの防止や作業の効率化を図れば、結果的に補綴物の精度を高められ患者さんに信頼される治療につながると思われる。

接ラウンドタイプは付着部が線状で接着力が乏しい。

ボクシングにおいて、ワックス1本の長さが1顎の周囲に適切な長さで、2〜3本のワックスを繋げる必要が無い。

ワックスの色がホワイトで、被付着部を汚す事が少なくなった。



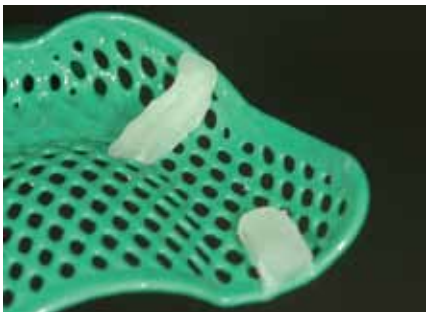
スクウェアタイプは付着部が面で接着力が高く安定する。



接ラウンドタイプは付着部が線状で接着力が乏しい。



ボクシングにおいて、ワックス1本の長さが1顎の周囲に適切な長さで、2〜3本のワックスを繋げる必要が無い。



ワックスの色がホワイトで、被付着部を汚す事が少なくなった。